

# 区民委員会報告資料

令和3年11月11日

報告事項件名	頁
1 足立区多文化共生推進計画に基づく施策の実績報告について	2
2 区民事務所における一部業務見直しの取り組み状況について	3
3 ギャラクシティ（足立区こども未来創造館・足立区西新井文化ホール）の指定管理者運営評価結果について	7
4 足立区文化芸術劇場（シアター1010）の指定管理者運営評価結果について	9
5 足立区生涯学習関連施設の指定管理者業務評価結果について	11
6 令和3年度あだちスポーツコンシェルジュ上半期の活動報告について	14
7 令和3年度スペシャルライフコート上半期の利用実績報告について	17

(地域のちから推進部)

# 区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年11月11日

件 名	<b>足立区多文化共生推進計画に基づく施策の実績報告について</b>
所管部課名	地域のちから推進部 地域調整課
内 容	<p>足立区多文化共生推進計画の2020年度（令和2年度）施策の実施状況について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 令和2年度の多文化共生推進施策と実施状況について</b>          多文化共生推進のための令和2年度の施策について、全庁向けに調査を実施したので、別添資料1「足立区多文化共生推進計画2020年度（令和2年度）実績 施策と実施状況」のとおり実績を報告する。</p> <p><b>2 施策調査対象期間</b>          令和2年4月から令和3年3月まで</p>
問 題 点 今後の方針	<p>今後も、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化など、区民の生活環境の変化にあわせて対応し、弾力的な施策を目指していく。</p> <p>なお、次年度へ向けては、多文化共生に関わりの深い事業について評価する仕組みづくりを検討していく。</p>

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年11月11日

件 名	<b>区民事務所における一部業務見直しの取り組み状況について</b>
所管部課名	地域のちから推進部地域調整課、政策経営部ICT戦略推進担当課、広報室区民の声相談課、区民部課税課、納税課、戸籍住民課、国民健康保険課、高齢医療・年金課、福祉部親子支援課、高齢者施策推進室介護保険課、衛生部保健予防課、足立保健所生活衛生課
内 容	<p>令和2年度から、区民事務所来所者の待ち時間短縮を図り、区民サービスの向上を目指すため、16の窓口取り扱い業務の見直しを行ってきた。</p> <p>各主管課と検討の結果、以下のとおり業務の見直しを行うこととしたので報告する。</p> <p><b>1 業務見直し理由</b></p> <p>マイナンバーカード業務の急増に伴い、区民事務所窓口の待ち時間が伸びている。マイナンバーカードの取扱いは住民基本台帳に基づく業務のため、引き続き区民事務所で行うべきものであるが、1件あたりの一連業務に長時間を要する。現在1所1日あたりの処理時間は、平成27年度のマイナンバー制度開始時と比較して、平均6時間40分伸びている。</p> <p>そのため、区民事務所の業務見直しを行い効率化を図ることで、待ち時間の短縮を目指していく。</p> <p><b>2 業務見直し取り組み結果</b></p> <p>別紙1「業務見直し取り組み結果『実施（予定）時期』」参照</p> <p><b>3 想定される業務短縮時間</b></p> <p>これらの業務の見直しが実現することにより、1所1日あたりの処理時間を平均約4時間短縮することが可能と見込んでいる。</p> <p>なお、別紙1「業務見直し取り組み結果『実施（予定）時期』」のNo.16収納業務は、処理時間が不確定のため計算に含めていない。</p> <p><b>4 区民等への周知</b></p> <p>見直し結果については、区ホームページやあだち広報等のあらゆる媒体を活用し積極的に周知を行っていく。</p>
問 題 点 今後の方針	<p>1 検討中の業務については、引き続き主管課と協議していく。</p> <p>2 更なる窓口サービスの向上のため、窓口申請書作成支援システムやキャッシュレス化についてもICT戦略推進担当課と連携しながら検討していく。</p>

業務見直し取り組み結果「実施（予定）時期」

別紙 1

No.	業務内容（主管課）	業務見直し取り組み結果	実施（予定）時期	効果
1	原動機付自転車の廃車申請受付 （課税課）	<u>引き続き区民事務所で受付を行う。</u> 郵送セットを区民事務所に設置し、郵送での手続きをホームページや区民事務所窓口等でPRした。	実施済み （令和3年3月開始）	① 郵送申請ができるようになり、お客様の選択肢が増えた。 ② 区民事務所の受付件数が前年と比較して約1割減少し、窓口の混雑緩和になった。
2	元気応援ポイントの手帳交付、申請受付 （介護保険課）	① <u>ボランティア活動の期間変更</u> 例年3月～5月は、区民事務所の受付窓口が混雑し、お客様を長時間お待たせすることになる。繁忙期に交付金の申請が集中しないよう、活動期間を変更した。 ・ 変更前：4月～翌年3月 ・ <u>変更後：8月～翌年7月</u> ② <u>申請書類の簡素化</u> 交付申請の書類を、2種類から1種類に統合した。また、 <u>押印を廃止し、記載事項も簡素化</u> した。 ③ <u>交付申請用の返信用封筒を作成。新年度の手帳送付時に同封し、郵送申請できるようにした。</u>	実施済み （令和3年6月開始）	① 区民事務所窓口繁忙期の混雑が緩和し、受付時間が短縮した。 ② お客様の申請時の手間がはぶけた。 ③ 郵送申請ができるようになり、お客様の選択肢が増え、利便性が高まった。窓口での申請件数が前年度と比較して約4割減少し、窓口の混雑が緩和した。
3	畜犬登録・狂犬病予防注射済票交付受付 （生活衛生課）	① 1回の手続き件数の多い動物病院などに対しては、衛生部長名で <u>原則、保健所窓口や保健センターを利用してもらうよう依頼</u> し、区民事務所以外での手続きをお願いした。 ② 注射済票交付受払簿・月例報告書の記入項目を減らすなどの簡素化を行った。	① 実施済み （令和3年6月開始） ② 実施済み （令和3年10月開始）	① 区民事務所全体で受付件数が前年と比較して約3割減少し、窓口の混雑緩和になった。 （9月末現在） ② 区民事務所の事務軽減になった。
4	母子健康手帳の交付 （保健予防課）	① ポスターに「こども商品券」のポップを貼り、 <u>各保健センター等へ誘導した。</u> ② 母子健康手帳持ち帰り用バック等の複数の配付物は、保健予防課でひとまとめに封入し、区民事務所での作業を減らした。また、保健予防課で、配付物の内容がわかるワンペーパーの資料を作成し、区民事務所での説明を簡素化した。	実施済み （令和3年8月開始）	① 区民事務所全体で受付件数が前年と比較して約2割減少し、窓口の混雑緩和になった。 （9月末現在） ② 区民事務所の事務軽減になった。

No.	業務内容（主管課）	業務見直し取り組み結果	実施（予定）時期	効果
5	住居表示変更証明の交付 （戸籍住民課）	<u>受付と交付のみを区民事務所で行い、証明書の作成は主管課で行う。</u> 受付を各区民事務所で行い、申請書類をFAXで住民記録係に送付し証明書を作成してもらう。作成した証明書をFAXで区民事務所に返信してもらい、区民事務所で申請者に交付する。	実施済み （令和3年10月開始）	主管課で証明書を作成することにより、正確でスピーディ（5分～10分）に証明書を交付できる。
6	児童手当・医療証の受付 （親子支援課）	① <u>受付時の記入項目を簡素化</u> し、必要書類をコピーして預かる。 ② <u>郵送セットを用意し、郵送での申請</u> ができるようにした。	実施済み （令和3年10月開始）	① お客様の申請時の手間が減少し、受付時間が短縮になる。 ② 郵送申請ができるようになり、お客様の選択肢が増えた。
7	児童手当・医療証の申請事項変更届の受付 （親子支援課）			
8	国民健康保険加入時の電話による企業への確認が必要な受付 （国民健康保険課）	企業への問合せが必要な申請や必要書類がそろっていない申請は、 <u>原則、国民健康保険課での受付とする。</u> 必要書類がそろっている場合は引き続き区民事務所での受付を行う。 書類の不備等があり、区民事務所で受付ができない場合は、必要書類等を記載した案内チラシをお渡しする。 ※ 中抜け…国民健康保険への加入・喪失手続きを行わないまま、社会保険への加入・喪失を繰り返すこと	令和4年1月以降	説明不足などにより、お客様への不利益が生じるリスクを回避できる。
9	国民健康保険の専門性の高い申請等の受付 （中抜け※） （国民健康保険課）			
10	住民税の申告受付 （課税課）	<u>原則、課税課での受付とする。</u> 専門性が高く、専門職員以外の対応では、区民に不利益を生じさせる可能性があるため、区民事務所での申告受付を取りやめる。 なお、記入された申告書をお持ちいただいた場合は、区民事務所で預かり課税課へ回送する。	令和4年2月 あだち広報1月25日 税特集号・HP・申告の手引き等あらゆる媒体を活用して周知	説明不足などにより、お客様への不利益が生じるリスクを回避できる。
11	臨時運行許可の受付 （課税課）	<u>引き続き区民事務所で受付を行う。</u> 受付マニュアルの内容をわかり易いように見直した。	令和4年4月	受付時のミス防止に役立つ。

No.	業務内容（主管課）	業務見直し取り組み結果	実施（予定）時期	効果
1 2	国民年金の免除受付 （高齢医療・年金課）	<p><u>区民事務所では、免除制度等の説明は行わず、受付時の確認項目を極力簡素化し、必要書類と併せて収受する。</u></p> <p>① 免除制度や申請書の記入方法の説明は、問合せ先等がわかるチラシによりご案内する。</p> <p>② 受付時は、記入された申請書の必須項目の記載と必要な添付書類を確認し収受する。</p> <p>③ 申請書は国で定める指定様式であり、複雑な事項を含むため、より分かりやすい記入例を作成する。</p> <p>④ 申請書の記載誤りや不備等は、後日、主管課から申請者あて電話や文書で連絡するなど、主管課によるフォローアップにより修正対応を行う。</p> <p>※ 事務の詳細は、現在、事務担当者間で協議中である。</p>	<p>令和4年10月以降</p> <p>あだち広報・HP等を活用して周知</p>	<p>① 区民事務所の業務見直し後も、これまでどおり免除申請の受付が可能である。</p> <p>② 区民事務所での窓口受付の時間を短縮することができる。</p>
1 3	極端に件数が少ない 戸籍証明等の受付 （戸籍住民課）	<p>レアケースの証明書等で、交付の可否判断が困難なものや、区民事務所では発行ができないため主管課で作成しFAXで対応している証明書等の発行について、<u>令和5年度から本籍地以外でも戸籍が発行できる改正にあわせて検討</u>していく。</p>	令和5年以降	<p>主管課で証明書を作成することにより、正確でスピーディに証明書を交付できる。</p>
1 4	問合せ先をコールセンターに変更 （区民の声相談課）	<p><u>次期統合電話センターのプロポーザル準備期間中に様々な条件を踏まえて検討</u>する。</p>	次期統合電話センター開始時期	<p>区民事務所で答えられないことも多く、たらい回しを防ぐことになる。</p>
1 5	外国人への制度に関する説明等 （国民健康保険課）	<p><u>引き続き区民事務所で受付を行う。</u></p> <p>① 通訳タブレットをより活用する。</p> <p>② 外国人向けに多言語化した制度を説明するチラシやホームページの作成を検討していく。</p>	<p>① 実施済み</p> <p>② 検討中</p>	<p>外国人への案内がよりスムーズに行えるようになる。</p>
1 6	収納業務 （4公金の収納業務担当課）	<p><u>キャッシュレス化の動向を踏まえて検討</u>していく。</p>	検討中	<p>お客様の利便性が高まる。</p>

# 区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年11月11日

件 名	<b>ギャラクシティ（足立区こども未来創造館・足立区西新井文化ホール）の 指定管理者運営評価結果について</b>																												
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課																												
内 容	<p>ギャラクシティ指定管理者の令和2年度業務について、足立区ギャラクシティ運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 主な業務内容</b> 足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホールの管理運営</p> <p><b>2 指定管理者</b> みらい創造堂（代表団体 ヤオキン商事株式会社）</p> <p><b>3 指定管理料（令和2年度）</b> 512,538,389円</p> <p><b>4 評価結果</b></p> <p>(1) 得点及び評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">評価年度</th> <th style="width: 25%;">得点</th> <th style="width: 25%;">得点率</th> <th style="width: 25%;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>145点</td> <td>80.56%</td> <td>A-</td> </tr> <tr> <td><b>令和2年度</b></td> <td><b>122点</b></td> <td><b>67.77%</b></td> <td><b>B+</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;"></th> <th style="width: 25%;">管理状況</th> <th style="width: 25%;">事業効果</th> <th style="width: 25%;">アンケート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>46点／70点</td> <td>61点／70点</td> <td>38点／40点</td> </tr> <tr> <td><b>令和2年度</b></td> <td><b>43点／70点</b></td> <td><b>45点／70点</b></td> <td><b>34点／40点</b></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>-3点</td> <td>-16点</td> <td>-4点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(別添資料2「令和2年度文化施設指定管理者業務評価シート」参照)</p> <p>(3) 前年度との比較</p> <p>ア 管理状況について 施設休館中にテレワークや特別清掃を実施したが、通常の施設管理業務の範囲内であり評価に至らなかったため、前年度から減点となった。</p> <p>イ 事業効果について アウトリーチ事業等の実施数が少なく、コロナ禍における事業の実施のための工夫が不足していたため、前年度から減点となった。</p> <p><b>5 評価対象期間</b> 令和2年4月1日から令和3年3月31日</p> <p><b>6 評価委員会開催日</b> 令和3年9月1日（水）、7日（火）</p>	評価年度	得点	得点率	評価	令和元年度	145点	80.56%	A-	<b>令和2年度</b>	<b>122点</b>	<b>67.77%</b>	<b>B+</b>		管理状況	事業効果	アンケート	令和元年度	46点／70点	61点／70点	38点／40点	<b>令和2年度</b>	<b>43点／70点</b>	<b>45点／70点</b>	<b>34点／40点</b>	対前年比	-3点	-16点	-4点
評価年度	得点	得点率	評価																										
令和元年度	145点	80.56%	A-																										
<b>令和2年度</b>	<b>122点</b>	<b>67.77%</b>	<b>B+</b>																										
	管理状況	事業効果	アンケート																										
令和元年度	46点／70点	61点／70点	38点／40点																										
<b>令和2年度</b>	<b>43点／70点</b>	<b>45点／70点</b>	<b>34点／40点</b>																										
対前年比	-3点	-16点	-4点																										

## 7 評価委員会委員構成（計6名）

種別	氏名	勤務先等
学識経験者	渡辺 千歳 【委員長】	東京未来大学 こども心理学部教授
	山縣 朋彦 【副委員長】	文教大学教育学部 学校教育課程 教授
	伊志嶺 絵里子	東京藝術大学 音楽学部非常勤講師
	酒井 雅男	銀座ヒラソル法律事務所 弁護士
区民	高橋 佑介	足立区立小学校 PTA連合会副会長
	四宮 淳司	足立区少年団体連合協議会 副会長

## 8 評価方法

- (1) 指定管理者による自己評価（セルフチェック）
- (2) 区職員による実態調査（モニタリング）に基づく評価
- (3) 利用者アンケートの集計・分析
- (4) 評価委員による評価

評価委員会では、指定管理者によるプレゼンテーションと評価のための質疑応答を実施。

## 9 評価結果の公表

1 1月下旬頃、区ホームページに掲載予定

## 10 委員会での主な意見

- (1) 運営に関する評価（総評）

意見：多くの事業が中止となる難しい施設運営の中で、オンラインを併用した事業など意義深い取り組みが見られたが、動画配信の再生回数が少ないなど工夫の余地があった。

- (2) 指定管理者について

意見：個人情報保護は日頃の職員教育が重要であるため、引き続き取り組みに力を入れていただきたい。

意見：令和元年度は赤字であった収支が996万円の黒字に転じており、適切な財務管理がなされている。

意見：デジタルコンテンツの制作で満足せず、PR活動をもっと行ってほしい。

問題点  
今後の方針

- 1 評価により明らかになった課題について、指定管理者に通知し改善を促していく。
- 2 評価に用いるチェックシート、アンケートについて見直しを行う。

# 区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年11月11日

件 名	<b>足立区文化芸術劇場（シアター1010）の指定管理者運営評価結果について</b>																												
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課																												
内 容	<p>足立区文化芸術劇場指定管理者の令和2年度業務について、足立区文化芸術劇場運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 主な業務内容</b> 足立区文化芸術劇場の管理運営</p> <p><b>2 指定管理者</b> 共立・キョードー東京・大星ビル管理共同事業体 (代表者 (株)共立 代表取締役 横田 健二)</p> <p><b>3 指定管理料</b> 274,681,540円</p> <p><b>4 評価結果</b></p> <p>(1) 総合評価</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>得点</th> <th>得点率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>126点</td> <td>78.75%</td> <td>A-</td> </tr> <tr> <td><b>令和2年度</b></td> <td><b>126点</b></td> <td><b>78.75%</b></td> <td><b>A-</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 内訳</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>管理状況</th> <th>事業効果</th> <th>アンケート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>58点/75点</td> <td>36点/45点</td> <td>32点/40点</td> </tr> <tr> <td><b>令和2年度</b></td> <td><b>62点/75点</b></td> <td><b>34点/45点</b></td> <td><b>30点/40点</b></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>+4点</td> <td>-2点</td> <td>-2点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(別添資料2「令和2年度文化施設指定管理者業務評価シート」参照)</p> <p>(3) 前年度との比較</p> <p>ア 管理状況について 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための取り組み（独自のマニュアル作成とそれに基づく運営）が評価されたため、前年度から加点となった。</p> <p>イ 事業効果について 新型コロナウイルスにより、加点に至る事業が相次いで中止となったため、前年度から減点となった。</p> <p><b>5 評価対象期間</b> 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで</p>		得点	得点率	評価	令和元年度	126点	78.75%	A-	<b>令和2年度</b>	<b>126点</b>	<b>78.75%</b>	<b>A-</b>		管理状況	事業効果	アンケート	令和元年度	58点/75点	36点/45点	32点/40点	<b>令和2年度</b>	<b>62点/75点</b>	<b>34点/45点</b>	<b>30点/40点</b>	対前年比	+4点	-2点	-2点
	得点	得点率	評価																										
令和元年度	126点	78.75%	A-																										
<b>令和2年度</b>	<b>126点</b>	<b>78.75%</b>	<b>A-</b>																										
	管理状況	事業効果	アンケート																										
令和元年度	58点/75点	36点/45点	32点/40点																										
<b>令和2年度</b>	<b>62点/75点</b>	<b>34点/45点</b>	<b>30点/40点</b>																										
対前年比	+4点	-2点	-2点																										

## 6 評価委員会開催日

- (1) 施設見学会：令和3年7月16日（金）
- (2) 評価委員会：令和3年9月6日（月）

## 7 評価委員会委員構成（計5名）

種別	氏名	勤務先等
学識経験者	熊倉 純子 【委員長】	東京藝術大学大学院 国際芸術創造科教授
	小林 真理 【副委員長】	東京大学大学院 人文社会系研究科教授
	垣内 恵美子	政策研究大学院大学 政策研究科教授
区民	高柳 千代	シアター1010友の会会員
	緒方 彩乃	家劇場（北千住運営者）

## 8 評価方法

- (1) 指定管理者による自己評価（セルフチェック）
- (2) 区職員による実態調査（モニタリング）に基づく評価
- (3) 利用者アンケートの集計・分析
- (4) 評価委員による評価

## 9 評価結果の公表

令和3年11月末頃、区ホームページに掲載予定

## 10 委員会での主な意見

- (1) 運営に関する評価（総評）
  - 意見：引き続き安定した運営が行われている。新型コロナウイルス対策が十分かつ適切に行われている。
  - 意見：事業の組み換え等の工夫を行い、プラス収支で終えた点を評価したい。
- (2) 指定管理者について
  - 意見：自主・共催公演の数に物足りなさがあるので、もう少し公演数を増やしてほしい。
  - 意見：実施した公演を見ると、ターゲット年齢に若干の偏りが見られるため、今後の公演内容を検討してほしい。
  - 意見：オンライン配信などのコロナ禍でも可能な顧客獲得策を積極的に行ってほしい。

問題点  
今後の方針

評価により明らかになった課題や委員から出された意見について、指定管理者に通知し、運営に活かしてもらうよう対応を促す。

# 区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年11月11日

件 名	<b>足立区生涯学習関連施設の指定管理者業務評価結果について</b>																																																																																																
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館																																																																																																
内 容	<p>生涯学習関連施設指定管理者の令和2年度業務について、足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 主な業務内容</b> 足立区生涯学習関連施設の管理、運営</p> <p><b>2 令和2年度指定管理者評価結果</b></p> <p>(1) 生涯学習センター</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 25%;">施設名</th> <th style="width: 30%;">指定管理者</th> <th style="width: 10%;">R02 評価</th> <th style="width: 15%;">得点率</th> <th style="width: 15%;">指定管理料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>生涯学習センター</td> <td>あだち学びときずな創造事業体 (代表者 伊藤 治光)</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">65.9% (135/205)</td> <td style="text-align: right;">234,478,147円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 地域学習センター</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 25%;">施設名</th> <th style="width: 30%;">指定管理者</th> <th style="width: 10%;">R02 評価</th> <th style="width: 15%;">得点率</th> <th style="width: 15%;">指定管理料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>保塚地域学習センター</td> <td>(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)</td> <td style="text-align: center;">A-</td> <td style="text-align: center;">79.5% (159/200)</td> <td style="text-align: right;">86,834,160円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>佐野地域学習センター</td> <td>(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)</td> <td style="text-align: center;">A-</td> <td style="text-align: center;">77.6% (132/170)</td> <td style="text-align: right;">85,052,525円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>竹の塚地域学習センター</td> <td>ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)</td> <td style="text-align: center;">A-</td> <td style="text-align: center;">77.1% (131/170)</td> <td style="text-align: right;">123,257,015円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>舎人地域学習センター</td> <td>ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)</td> <td style="text-align: center;">A-</td> <td style="text-align: center;">76.5% (153/200)</td> <td style="text-align: right;">83,489,714円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>興本地域学習センター</td> <td>(株)TMエンタープライズ (代表者 川名 康仁)</td> <td style="text-align: center;">A-</td> <td style="text-align: center;">75.9% (129/170)</td> <td style="text-align: right;">78,353,779円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>花畑地域学習センター</td> <td>TM・アズビル共同事業体 (代表者 川名 康仁)</td> <td style="text-align: center;">A-</td> <td style="text-align: center;">75.0% (150/200)</td> <td style="text-align: right;">116,307,731円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td>中央本町地域学習センター</td> <td>ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)</td> <td style="text-align: center;">B+</td> <td style="text-align: center;">74.7% (127/170)</td> <td style="text-align: right;">104,251,465円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td>江北地域学習センター</td> <td>(株)TMエンタープライズ (代表者 川名 康仁)</td> <td style="text-align: center;">B+</td> <td style="text-align: center;">74.1% (126/170)</td> <td style="text-align: right;">108,831,700円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td>東和地域学習センター</td> <td>ヤオキン・ASCC 共同事業体 (代表者 伊藤 治光)</td> <td style="text-align: center;">B+</td> <td style="text-align: center;">74.1% (126/170)</td> <td style="text-align: right;">105,073,447円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td>梅田地域学習センター</td> <td>ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)</td> <td style="text-align: center;">B+</td> <td style="text-align: center;">73.5% (147/200)</td> <td style="text-align: right;">158,069,199円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11</td> <td>伊興地域学習センター</td> <td>(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)</td> <td style="text-align: center;">B+</td> <td style="text-align: center;">70.6% (120/170)</td> <td style="text-align: right;">83,702,154円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12</td> <td>新田地域学習センター</td> <td>(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)</td> <td style="text-align: center;">B+</td> <td style="text-align: center;">70.6% (120/170)</td> <td style="text-align: right;">65,495,860円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td>鹿浜地域学習センター</td> <td>ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)</td> <td style="text-align: center;">B+</td> <td style="text-align: center;">69.4% (118/170)</td> <td style="text-align: right;">62,394,852円</td> </tr> </tbody> </table>		施設名	指定管理者	R02 評価	得点率	指定管理料	1	生涯学習センター	あだち学びときずな創造事業体 (代表者 伊藤 治光)	B	65.9% (135/205)	234,478,147円		施設名	指定管理者	R02 評価	得点率	指定管理料	1	保塚地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	A-	79.5% (159/200)	86,834,160円	2	佐野地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	A-	77.6% (132/170)	85,052,525円	3	竹の塚地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	A-	77.1% (131/170)	123,257,015円	4	舎人地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	A-	76.5% (153/200)	83,489,714円	5	興本地域学習センター	(株)TMエンタープライズ (代表者 川名 康仁)	A-	75.9% (129/170)	78,353,779円	6	花畑地域学習センター	TM・アズビル共同事業体 (代表者 川名 康仁)	A-	75.0% (150/200)	116,307,731円	7	中央本町地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	B+	74.7% (127/170)	104,251,465円	8	江北地域学習センター	(株)TMエンタープライズ (代表者 川名 康仁)	B+	74.1% (126/170)	108,831,700円	9	東和地域学習センター	ヤオキン・ASCC 共同事業体 (代表者 伊藤 治光)	B+	74.1% (126/170)	105,073,447円	10	梅田地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	B+	73.5% (147/200)	158,069,199円	11	伊興地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	B+	70.6% (120/170)	83,702,154円	12	新田地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	B+	70.6% (120/170)	65,495,860円	13	鹿浜地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	B+	69.4% (118/170)	62,394,852円
	施設名	指定管理者	R02 評価	得点率	指定管理料																																																																																												
1	生涯学習センター	あだち学びときずな創造事業体 (代表者 伊藤 治光)	B	65.9% (135/205)	234,478,147円																																																																																												
	施設名	指定管理者	R02 評価	得点率	指定管理料																																																																																												
1	保塚地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	A-	79.5% (159/200)	86,834,160円																																																																																												
2	佐野地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	A-	77.6% (132/170)	85,052,525円																																																																																												
3	竹の塚地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	A-	77.1% (131/170)	123,257,015円																																																																																												
4	舎人地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	A-	76.5% (153/200)	83,489,714円																																																																																												
5	興本地域学習センター	(株)TMエンタープライズ (代表者 川名 康仁)	A-	75.9% (129/170)	78,353,779円																																																																																												
6	花畑地域学習センター	TM・アズビル共同事業体 (代表者 川名 康仁)	A-	75.0% (150/200)	116,307,731円																																																																																												
7	中央本町地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	B+	74.7% (127/170)	104,251,465円																																																																																												
8	江北地域学習センター	(株)TMエンタープライズ (代表者 川名 康仁)	B+	74.1% (126/170)	108,831,700円																																																																																												
9	東和地域学習センター	ヤオキン・ASCC 共同事業体 (代表者 伊藤 治光)	B+	74.1% (126/170)	105,073,447円																																																																																												
10	梅田地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	B+	73.5% (147/200)	158,069,199円																																																																																												
11	伊興地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	B+	70.6% (120/170)	83,702,154円																																																																																												
12	新田地域学習センター	(株)グランディオサービス (代表者 林 秀樹)	B+	70.6% (120/170)	65,495,860円																																																																																												
13	鹿浜地域学習センター	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	B+	69.4% (118/170)	62,394,852円																																																																																												

### (3) スポーツ施設

	施設名	指定管理者	R02 評価	得点率	指定管理料
1	千寿本町小学校温水プール	(株) フクシ・エンタープライズ (代表者 福士 昌)	A <sup>-</sup>	76.1% (137/180)	74,350,000 円
2	竹の塚温水プール・体育館 (スィムスポーツセンター)	TM・アズビル共同事業体 (代表者 川名 康仁)	A <sup>-</sup>	75.0% (135/180)	152,220,000 円
3	平野運動場	ヤオキン商事(株) (代表者 伊藤 治光)	B <sup>+</sup>	71.7% (129/180)	22,460,000 円
4	東綾瀬公園温水プール	野村不動産ライフ&スポーツ・ パートナーズ共同事業体 (代表者 小林 利彦)	B <sup>+</sup>	70.0% (126/180)	74,790,000 円
5	総合スポーツセンター	あだちの未来協創グループ (代表者 水野 明人)	B <sup>+</sup>	69.4% (125/180)	231,264,128 円

#### ※ 参考 評価結果別一覧

R01→R02	施設名
A <sup>-</sup> → A <sup>-</sup>	興本、佐野、竹の塚、舎人、保塚、千寿本町小学校温水プール (6 施設)
B <sup>+</sup> → A <sup>-</sup>	花畑、竹の塚温水プール・体育館 (2 施設)
B <sup>+</sup> → B <sup>+</sup>	伊興、梅田、中央本町、総合スポーツセンター、平野運動場、東綾瀬公園温水プール (6 施設)
A <sup>-</sup> → B <sup>+</sup>	江北、鹿浜、新田、東和 (4 施設)
B → B	生涯学習 (1 施設)

#### 3 評価対象期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

#### 4 評価委員会開催日

令和3年8月18日(水)、19日(木)、20日(金)

#### 5 評価委員会委員構成 (計5名)

種別	氏名	役職等
学識経験者 (有識者含む)	岩永 雅也 【委員長】	放送大学 学長
	高井 正 【副委員長】	立教大学 学校・社会教育講座 特任准教授
	酒井 雅男	銀座ヒラソル法律事務所 弁護士
区民	中山 小夜子	足立区体育協会 副会長
区職員	下河邊 純子	青少年課長

	<p><b>6 評価方法</b></p> <p>(1) 指定管理者による自己評価（セルフチェック）</p> <p>(2) 区職員による実態調査（モニタリング）に基づく評価</p> <p>(3) 利用者アンケートの集計・分析</p> <p>(4) 評価委員会に諮問し、総合評価について答申を得る。          評価委員会では事務局が作成した資料の確認及び施設統括責任者へのヒアリングにより、上記（1）（2）を第三者の視点で審査する。</p> <p>(5) 改善が必要な項目（標準点である3点に満たない項目）については、継続審査扱いとなり、翌年度の評価委員会において、再度、改善の可否を審査する。</p> <p>&lt;評価委員会提出資料&gt;</p> <p>① 業務評価シート</p> <p>② 評価チェックシート</p> <p>③ 利用者アンケート集計結果</p> <p><b>7 評価結果</b></p> <p>すべての施設がB評価（標準点）以上である。          （別添資料3「令和2年度 足立区生涯学習関連施設指定管理者業務評価資料」参照）</p> <p><b>8 委員会での主な意見（総評）</b></p> <p>(1) 指定管理業務について          意見：コロナ禍における施設利用制限等がある中で、オンラインによる講座開催、職員研修の充実、独自の感染防止対策による施設利用等、施設ごとに工夫して取り組んでいた点を評価する。</p> <p>(2) 評価方法について          意見：加点項目の評価基準を「数値的な指標」から「取り組み内容や成果」に変更したことによって、コロナ禍での施設の取り組みを、各委員が専門的に、裁量をもって評価することができた。</p> <p><b>9 評価結果の公表</b></p> <p>令和3年11月下旬、区ホームページに掲載予定</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>評価により明らかになった課題について、各指定管理者に通知し改善を促していく。改善案については、今後の運営に活かされているか継続して確認していく。</p>

件名	令和3年度あだちスポーツコンシェルジュ上半期の活動報告について																											
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 スポーツ振興課																											
内容	<p>令和3年度上半期のあだちスポーツコンシェルジュ活動状況について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 相談実績</b></p> <p>(1) 全体の相談件数</p> <table border="1" data-bbox="399 712 1272 925"> <thead> <tr> <th>全体の件数</th> <th>個人からの相談件数</th> <th>団体<sup>※1</sup>からの相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15件</td> <td>10件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 障がい福祉サービス事業所や障がい者団体など</p> <p>(2) 相談への対応状況</p> <p>ア 個人からの相談</p> <p>個人からの相談のうち、運動・スポーツができる場への紹介を希望し、面談を実施したのは6件で、うち1件は継続的な活動につながっている。ほか5件は活動先とのマッチングを図るため、体験会への参加などについて現在調整を進めている。</p> <p>&lt;個人からの相談件数 内訳&gt;</p> <table border="1" data-bbox="391 1384 1410 1673"> <thead> <tr> <th rowspan="2">相談件数</th> <th rowspan="2">面談実施件数<sup>※2</sup></th> <th colspan="3">面談後の対応状況</th> </tr> <tr> <th>継続的に活動中</th> <th>体験会等に参加予定</th> <th>体験等参加に向け調整中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10件</td> <td>6件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※2 面談に至らなかったケース…電話口での紹介にて相談終了したものなど</p> <p>&lt;個別の対応状況&gt;</p> <table border="1" data-bbox="397 1803 1404 2119"> <thead> <tr> <th></th> <th>面談者属性</th> <th>相談内容</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>視覚障がい男児（4歳）</td> <td>運動できる場所を紹介してほしい。</td> <td>民間障がい者トランポリン教室を体験後入会し、継続的に活動に参加している。</td> </tr> </tbody> </table>	全体の件数	個人からの相談件数	団体 <sup>※1</sup> からの相談件数	15件	10件	5件	相談件数	面談実施件数 <sup>※2</sup>	面談後の対応状況			継続的に活動中	体験会等に参加予定	体験等参加に向け調整中	10件	6件	1件	3件	2件		面談者属性	相談内容	対応状況	1	視覚障がい男児（4歳）	運動できる場所を紹介してほしい。	民間障がい者トランポリン教室を体験後入会し、継続的に活動に参加している。
全体の件数	個人からの相談件数	団体 <sup>※1</sup> からの相談件数																										
15件	10件	5件																										
相談件数	面談実施件数 <sup>※2</sup>	面談後の対応状況																										
		継続的に活動中	体験会等に参加予定	体験等参加に向け調整中																								
10件	6件	1件	3件	2件																								
	面談者属性	相談内容	対応状況																									
1	視覚障がい男児（4歳）	運動できる場所を紹介してほしい。	民間障がい者トランポリン教室を体験後入会し、継続的に活動に参加している。																									

	面談者属性	相談内容	対応状況
2	軽度知的障がい 男性（15歳）	スイムスポーツセンターの水泳教室に参加。施設改修のため、他に水泳教室のある施設を紹介してほしい（再相談）。	東綾瀬温水プールにて11月より新規開催となる教室事業（水泳連盟が協力）に参加予定。
3	軽度知的障がい 女性（16歳）		
4	軽度知的障がい 男性（15歳）		
5	軽度知的障がい 男性（23歳）	運動できる場所を紹介してほしい。	本人の希望に沿う活動場所などについて情報提供し、体験会等への参加に向け、調整中。
6	軽度知的障がい 男性（36歳）	バスケットボールやバドミントン、水泳などに参加したい。	競技団体の情報を収集中。今後、体験会等への参加調整を図る予定。

#### イ 団体からの相談

団体からの相談では、「スポーツの体験についての相談」が4件、「スポーツ活動へのボランティア派遣」についての相談が1件あった。

#### <個別の対応状況>

	施設・団体名	相談内容	対応状況
1	ピアさくら (高次脳機能障がい者通所施設)	施設内で利用者が楽しめるスポーツを紹介してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>卓球バレー・カーレットの体験会を実施。</li> <li>体験後も、施設で定期的に活動している。</li> </ul>
2	谷中ハウス (身体・知的重複障がい者グループホーム)	施設内で利用者が楽しめるスポーツを紹介してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設職員向けに、ボッチャの体験会を実施。</li> <li>体験後に施設内で活動実施している。</li> </ul>
3	スマイルメイツ (知的障がい者ダンスサークル)	レクリエーションイベントとしてボッチャの体験会を実施するため、指導者を紹介してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>初級障がい者スポーツ指導員を紹介し、体験会を実施する方向で調整中。</li> </ul>
4	ホーピング (知的・聴覚重複障がい者サークル)	レクリエーションイベントとしてボッチャの体験会を実施するため、指導者を紹介してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新た資格取得した初級障がい者スポーツ指導員を紹介し、経験を積む体験会を実施する方向で調整中。</li> </ul>

	施設・団体名	相談内容	対応状況
5	元気のでるハウス (知的障がい者グループホーム)	定期的に実施しているプール活動中に、利用者をフォローするボランティアを紹介してほしい。	・ 初級障がい者スポーツ指導員を紹介し、水泳連盟に相談しながら調整中。

## 2 その他の活動について

### (1) 区内障がい者施設等の訪問

区の取り組みの周知及び障がい者の運動・スポーツに対するニーズ把握のため、障がいサービス事業所や特別支援学校など、25施設を訪問。訪問により、スペシャルライフコートの活用につながったケースがあった。

#### <スペシャルライフコート紹介事例>

	施設名	活用方法
1	キッズの森 (放課後等デイサービス事業所)	コートにて実施している障がい者スポーツ教室に事業所単位で継続的に参加。
2	のんの (知的・精神障がい者就労支援事業所)	団体登録申請あり、11月よりフライングディスクなどの活動を定期的実施予定。
3	都立花畑学園 (特別支援学校)	具体的な活用方法の検討に向け、教員による施設見学を10月に実施。11月より利用予定。

### (2) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

今年度修了者は22名。講習の中で、スペシャルライフコートにて知的障がい者のサッカーサークル(ADISC)との交流会を実施した。

問題点  
今後の方針

- 各種相談の事例紹介や相談者の声について、SNSでの発信や施設への直接訪問のなかで紹介していくことで、次なる相談へとつなげていく。
- 相談への対応後も、活動状況について定期的な確認を行い、運動・スポーツの習慣化・定着化を図る。
- アウトリーチの支援等では初級障がい者スポーツ指導員など、活動意欲のある地域の人材活用を促進し、障がい者のスポーツを推進するネットワークの構築に取り組む。

区民委員会報告資料

令和3年11月11日

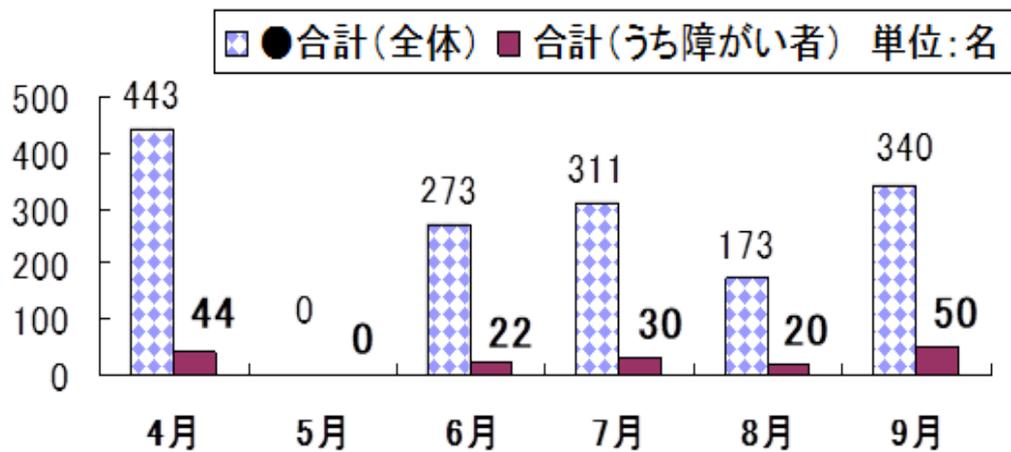
件名	令和3年度スペシャルライフコート上半期の利用実績報告について																																																																								
所管部課名	地域のちから推進部 生涯学習支援室 スポーツ振興課																																																																								
内容	<p>令和3年度上半期のスペシャルライフコート利用実績について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 概要</b></p> <p>(1) 緊急事態宣言及び第二期工事により、4月下旬から6月中旬まで利用停止期間あり。</p> <p>(2) 熱中症予防対策のため7・8月イベント（体験会等）は未実施とした。</p> <p>(3) 9月イベントとして、パラリンピックでの活躍からボッチャ体験会を企画したところ募集人数30名を上回る40名の参加となった。</p> <p>(4) 団体登録は、コンシェルジュを中心にアウトリーチの成果として直近2件の新規登録（ブラインドサッカー、障がい者施設）があり計4件に。</p> <p style="text-align: center;"><b>令和3年度 スペシャルライフコート利用者実績「総括表」</b></p> <p style="text-align: center;">(利用者延べ人数) <span style="float: right;">【単位：名】</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">令和3年度</th> <th style="width: 10%;">4月</th> <th style="width: 10%;">5月</th> <th style="width: 10%;">6月</th> <th style="width: 10%;">7月</th> <th style="width: 10%;">8月</th> <th style="width: 10%;">9月</th> <th style="width: 10%;">上期計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 個人利用 ※1</td> <td>361</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>201</td> <td>275</td> <td>149</td> <td>214</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>    うち障がい者</td> <td>0</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>● 団体利用 ※2</td> <td>54</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>24</td> <td>47</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>    うち障がい者</td> <td>44</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>● イベント利用 ※3</td> <td>28</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>48</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>79</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>    うち障がい者</td> <td>0</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>2</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>● 合計（全体）</td> <td>443</td> <td>0</td> <td>273</td> <td>311</td> <td>173</td> <td>340</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td>    合計（うち障がい者）</td> <td>44</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>50</td> <td>166</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 個人利用 障がいの有無については、受付票への自己申告記載である。</p> <p>※2 団体利用 団体名は以下のとおり。</p> <p style="margin-left: 20px;">(ア) インクルーシブフットボールクラブあらかわ（知的障がいサッカー）</p> <p style="margin-left: 20px;">(イ) アディスク（知的障がいサッカー）</p> <p style="margin-left: 20px;">(ウ) グラオベンフロイント東京（ブラインドサッカー）</p> <p style="margin-left: 20px;">(エ) 障がい者就労支援施設 のんの（フライングディスク）</p> <p style="margin-left: 20px;">(オ) 区主催「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」の実技講習 上記（イ）アディスクの協力を得て9月に受講者とともに利用</p> <p>※3 イベント利用 体験教室等を以下のとおり実施。</p> <p style="margin-left: 20px;">(ア) 東京ヴェルディによる区委託事業（障がい者スポーツ教室） 9/8 区内障がい者福祉施設の通所者を対象として実施 「葦の会作業所」、「キッズの森（放課後等デイサービス）」の参加</p>	令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	● 個人利用 ※1	361	/	201	275	149	214	1,200	うち障がい者	0	/	0	0	0	2	2	● 団体利用 ※2	54	/	24	36	24	47	185	うち障がい者	44	/	20	30	20	20	134	● イベント利用 ※3	28	/	48	/	/	79	155	うち障がい者	0	/	2	/	/	28	30	● 合計（全体）	443	0	273	311	173	340	1,540	合計（うち障がい者）	44	0	22	30	20	50	166
令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計																																																																		
● 個人利用 ※1	361	/	201	275	149	214	1,200																																																																		
うち障がい者	0	/	0	0	0	2	2																																																																		
● 団体利用 ※2	54	/	24	36	24	47	185																																																																		
うち障がい者	44	/	20	30	20	20	134																																																																		
● イベント利用 ※3	28	/	48	/	/	79	155																																																																		
うち障がい者	0	/	2	/	/	28	30																																																																		
● 合計（全体）	443	0	273	311	173	340	1,540																																																																		
合計（うち障がい者）	44	0	22	30	20	50	166																																																																		

(イ) パラスポーツ体験教室の実施  
個人申込、当日受付による参加

イベント利用（体験教室等）実施内容、参加者の内訳

実施日	実施内容	実施者	参加者 (うち障がい者)
4月4日	・ パラスポーツ×レクリエーション	総スポ、スポーツ推進委員	11名 (0名)
4月18日	・ パラスポーツ×レクリエーション	総スポ、スポーツ推進委員	17名 (0名)
5月 (中止)	・ インクルーシブサッカー ・ パラスポーツ×レクリエーション		緊急事態宣言による中止
6月5日	・ インクルーシブサッカー	元Jリーガー	25名 (1名)
6月20日	・ コーフボール	総スポ、スポーツ推進委員	9名 (1名)
6月26日	・ パラスポーツ×レクリエーション	総スポ、スポーツ推進委員	14名 (0名)
7・8月	・ 熱中症予防対策により未実施		
9月8日	・ 障がい者スポーツ教室 (2回) ※3 (ア)	東京ヴェルデ イ普及部	31名 (24名)
9月12日	・ ボッチャ	総スポ、スポーツ推進委員	40名 (3名)
9月26日	・ コーフボール	総スポ、スポーツ推進委員	8名 (1名)

個人・団体・イベント（体験教室等）の利用者実績グラフ



<p>問題点 今後の方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 資格取得後、活動の場がないことが課題だった「初級障がい者スポーツ指導員」へ今後のクライフコートでのボッチャ活動ボランティアの募集をしたところ15名の方の申込みがあった。</li> <li>2 コンシェルジュを中心に、コロナ禍でも継続してきたアウトリーチの効果が出始めている。 ※ オランダ関係者からも要望が続いていた特別支援学校（都立花畑学園）による校外学習利用が11月より開始予定。</li> <li>3 パラスポーツを通じた共生社会の実現のため、ボランティアや民間事業者等「意欲と実行力」のある人々との新たなつながりが生まれており、この流れをさらに進めていく。</li> </ol>
----------------------	--